近江牛カネ吉山本の直営レストラン

カネ吉山本 特選 近江牛肉 RESTAURANT ティファニー

営業時間／11:30～15:00(L.O.)
17:00～20:00(L.O.)
定休日／火曜日(祝日の場合営業)
駐車場／30台

ティファニーHP

〒523-0891 滋賀県近江八幡市鷹飼町558 TEL 0748-33-3055

No.20

池田牧場
滋賀県東近江市和南町1572-2
TEL0748-27-1600
FAX0748-27-1626
http://www.ikeboku.com

No.19

No.18

■近江牛

日本三大和牛銘柄牛「近江牛」のはじまりは、明治12年、竜王町の家畜商「竹中久次」が、東京浅草で当時としてはまだ珍しい牛鍋店「米久」を開いたことをきっかけに、その名声を全国に広めていきました。黒毛和種の和牛が滋賀県内で最も長く肥育されたものを「近江牛」と呼びます。【竜王町】

No.4 No.5 No.6

■水郷めぐり 4
【近江八幡和船観光協同組合】

近江八幡の水運の玄関口として栄えた豊年橋から広がる水郷地帯。ここは豊臣秀次公が始めたという水郷めぐり発祥の地。懐かしい葦葺き屋根の乗船場から、船頭が巧みに操る手こぎ舟に乗り、水と切る橋の音を聞きながら、水郷の四季が楽しめます。特に、雨の上での名物のエビ牛のすき焼きは季節を問わず人気です。【近江八幡市】

■近江八幡の水郷 3

日本で最初の重要文化的景観に選定された当地域は、日本の原風景とも呼べる癒しの世界が広がっています。春夏秋冬それぞれの顔を見せる水郷風景は「水郷めぐり」で楽しむことが出来ます。【近江八幡市】

■県立 安土城考古博物館 4

近江風土記の丘の一角にある中世ヨーロッパ風の外観を持つ博物館。館内には織田信長と安土城に関する史料を豊富に展示しています。【近江八幡市】

■近江上布伝統産業会館 18

室町時代から続く湖東地域の伝統産業、麻織物。「ゆめまちテラス えち」内にある近江上布伝統産業会館では、麻製品の買い物が楽しめるほか、国の伝統的工芸品"近江上布"を「知る」「体験する」ことができます。【愛荘町】

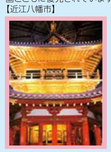
■愛知川びん細工手まり 16

滋賀県伝統的工芸品

手まりがどうしてびんの中に入ったのか、その由来、起源は定かではありませんが、旧家で見つかった最古のものは江戸時代末期の作とされます。現在も「愛知川びん細工手まり保存会」がこの灯を絶やさぬよう、技術の継承に努めています。展示は「愛知川びんてまりの館」、販売は「るーぶ愛知川」にて。【愛荘町】

■安土城天主 信長の館 5

1579年、織田信長の命により建築された安土城は日本最初の天主閣を備え、その高さは46mと仕大で絢爛豪華な城でした。安土城天主最上部5階6階部分が景寸大にて内部障壁画とともに復元されています。【近江八幡市】

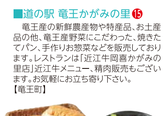


■安土城郭資料館 5

内部まで精巧に1/20に復元した幻の名城"安土城"が展示され、映像にて城を詳しく解説しています。屏風絵風陶板壁画に囲まれてゆっくり休憩ができます。また、織田信長公オリジナル南蛮甲冑の試着もできます。【近江八幡市】

■道の駅 竜王かがみの里 15

竜王産の新鮮農産物や特産品、お土産品の他、竜王産野菜にこだわった、焼きたてパン、手作りお惣菜などを販売しております。レストランは「近江牛四喜かがみの里店」近江牛メニュー、精肉販売もございます。お気軽にお立ち寄り下さい。【竜王町】



■道の駅 アグリパーク竜王 14

施設近隣に広がる果樹園では、一年を通して果樹狩りが楽しめます。滋賀県下最大の産地を誇るいちご園では、1～5月下旬頃までいちご狩りを開催。糖度が高く、とっても甘くてジューシーと好評です。【竜王町】

■道の駅 東近江市あいとうマーガレットステーション 13

花畑や農園などイベントでにぎわう道の駅。田園生活館はかわいい雑貨や米粉ピザ焼き体験教室が人気。ジェラートや新鮮農産物が並ぶ直売館もにぎわっています。【東近江市】

No.16

No.15

No.14

No.13

No.12

No.11

No.10

No.9

No.17

No.7

No.8

■豊郷小学校旧校舎群 1

中山道の石垣と四十九院の間に、白鷺が羽を広げたような洋風建築の豊郷小学校旧校舎群が見えます。この校舎は、昭和12年に近江商人、商社「丸紅」の専務であった古川鉄治郎氏によって寄贈され、当時は東洋一の小学校といわれました。【豊郷町】

■伊藤忠兵衛記念館 8

大手商社の「伊藤忠商事」「丸紅」の創始者初代伊藤忠兵衛は1842年、麻織物の売業を営む「紅長」の家に生まれました。【豊郷町】

■江州音頭発祥の地 千樹寺 7

豊郷町の中山道沿いにある「千樹寺」は、行基が創建した江州四十九院の一つです。戦国時代、織田信長の戦いによりこの寺も焼失しましたが、信長に古来すぐに近江商人となった藤野喜兵衛の先祖、太郎右エ門が寄金して再建しました。その落慶法要で住職が調内に人形をたくさん並べ、お経に音頭の節をつけて唱い、手ふり足ふり拍子をそろえて踊りだしたのが今の「江州音頭」の始まりと言われています。現在では、夏祭りに江州音頭総踊りとして地域の人々に受け継がれており、この盆踊りの「紙引舞」や「雨」を持って踊る祭文踊りは無形文化財として保存・継承されています。【豊郷町】

■夢京橋キャッスルロード 9

彦根城の お堀にかかる京橋からすぐ、白壁と黒格子の町屋風に統一された街並みは江戸時代の城下町をイメージしています。和菓子屋、洋菓子屋、地元ならではの商品を扱うお店が軒を並べ、古き時代と新しい時代の調い凛う「OLD NEW TOWN」です。【彦根市】

■金剛輪寺 10 湖東三山

参道の千基地蔵に迎えられる金剛輪寺は、行基菩薩が天平13年(741)に開山された天台の巨刹で湖東三山の一つ。本堂は鎌倉時代の代表的な和様建造物として国宝に指定されています。堂内には本尊聖観世音菩薩をはじめ、14体の国重文の仏像が安置され、三重塔、二天門も国重文建造物です。また、近江路一とも言われる国指定の名勝庭園は、江戸末期の茶室水雲閣が趣をそえます。【愛荘町】

■多賀大社 11

多賀大社のご祭神は、伊邪那岐大神と伊邪那美大神で、日本最初の男女の神です。年間170万人の参拝者があり、多賀の大神は生命の親神として、延命長寿・縁結び・厄除けの神様として多くの信仰を集めてきました。【多賀町】

■胡宮神社 12

胡宮とは、古い大神、非常に気高く尊いお宮という意味です。神社の背後には青龍山という神体山があります。その山頂近くに磐座があり、まだどんな手ぢつの年でも水が枯れない古井戸があります。胡宮神社の祭神は日本最初の男性と女性の神様である伊邪那岐命と伊邪那美命のすであり事務国勝長狭命で玉殺霊種を司る神様です。胡宮神社は湖東三山と並ぶ敏満寺の遺跡でもあり、典型的な神宮寺の形を残しています。【多賀町】

■河内の風穴 13

霊仙山系のカルスト地帯に出来た石灰岩の洞窟。総延長は、10,020mに上といわれ全国第4位。一部が観光洞として開放されています。洞内温度は、年中約12度で、固有種の確認もされています。近くを流れる透き通った清流に癒しを求めてくる人も大勢います。県の天然記念物指定。【多賀町】

■大蛇ヶ淵【大瀧神社】 14

大瀧神社に面する犬上川は、大蛇ヶ淵(だいじゃがふち)と呼ばれ、清流が、奇岩怪石の間をうねりながら、10mの落差で流れ落ちる光景は迫力があります。紅葉時期も美しい。大瀧神社は、京都の貴船神社にも祀られている水を司る高龍神、開龍神が祭神で滝の宮とも呼ばれます。付近には遊歩道が整備され、木々の息吹、清らかな流なと四季折々の自然を楽しむことができます。【多賀町】

No.18

◆この地図は英公社株式会社(版権所有)発行の最も新しい地図を調整したものです。
いかなる形式においても、著作権者に無断で、この地図の全部またはー部を複製し、利用することを固く禁じます。